

2018年12月5日

東京大学公共政策大学院で講義

株式会社日本格付研究所（JCR）の仲川聡社長特別補佐（アジア格付機関連合（ACRAA）会長）は12月3日、東京大学公共政策大学院にて、「ソブリンリスク評価ーフィナンシャル・スタビリティに向けて各国の格付機関が果たす役割」と題した講義を行いました。^{1/} 仲川社長特別補佐は、同講義において、(1)新興国を取り巻く経済・金融環境、(2)新興国における過去の金融危機の種類、(3)新興国のソブリンリスク審査における主な着目点、(4)企業部門にかかる財務の脆弱性把握と規律維持において各国の格付機関が果たす役割ーについて、説明を行いました。

JCRは、1986年にサムライ債（円建外債）への格付を開始して以来、30年以上にわたり、ソブリンリスク分析に関する知見を蓄積しています。「ソブリン・カントリーリスク分析講座」を開催しているほか、ソブリン・アナリストを対象とする「ソブリンリスク研究会」^{2/}も設立し、ソブリンリスクに関心を有するアナリスト間での意見交換や情報共有を推進しています。また、JCRは、アジア13ヵ国・地域28社の格付機関が加盟するアジアの格付機関のネットワークであるアジア格付機関連合（ACRAA）も、会長として主導しています。JCRはまた、インド、トルコ、パキスタン、ペルー、マレーシア、メキシコといった新興国の格付機関とも提携関係を有しています。

このように、JCRでは、格付やグローバルなネットワークなどにより蓄積された知見を共有する、セミナーや研修講座の主催や講師の派遣も行っております。ご関心のある方は、JCR情報サービス部（電話：03-3544-7013）まで、ご連絡いただければと思います。

JCRは、経済・金融のグローバル化が進む中で、内外企業等の国際展開や投資家の多様な資金運用ニーズに答えていくことが重要だと考えています。JCRは、引き続き、ACRAAや新興国の格付機関とのネットワークも活用しながら、日本の投資家や企業にとって最もお役に立つ格付会社を目指してまいります。

1/ <http://www.pp.u-tokyo.ac.jp/events/2018-11-26-17531/>

2/ https://www.jcr.co.jp/pdf/dm55/GlobalTopics_180807j.pdf

株式会社 **日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル